

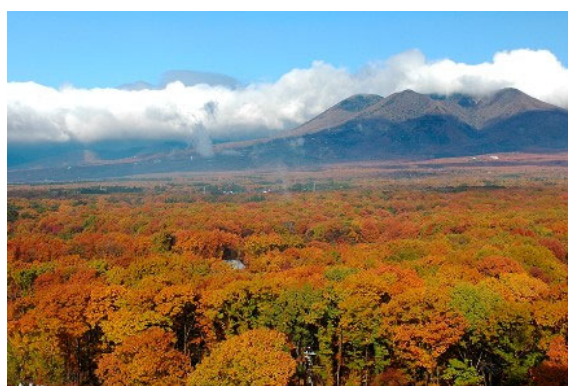


ICYS Workshop 2023

第 15 回 ICYS ワークショップが 10 月 17 日、18 日の両日、栃木県那須高原で開催されました。このワークショップには、ICYS のリサーチフェロー、理事、ディレクター、メンター、ICYS の卒業生など総勢 33 名が参加しました。

基調講演には、NASA の Othmane Benafan 博士と京都大学の関 修教授をお招きしてご講演をいただきました。

ICYS ワークショップは ICYS リサーチフェローが進めているの研究成果を発表します。活発な意見交換を通してゲスト研究者からアドバイスや具体的なイメージを受けることができる良い機会となっています。



土谷 ICYS センター長による挨拶に続いて基調講演に移り、NASA の Othmane Benafan 博士より“Functional and Structural Materials for Extreme Environments: Addressing Key Aerospace Challenges” と題してご講演いただきました。

ICYS リサーチフェローの発表では発表者と参加者が積極的に動き、互いの意見を聞いて議論をする場面が多く見られました。



ワークショップ初日、参加者は発表を通じて各々の研究への理解を深めることとともに手応えと達成感を感じることができたのではないのでしょうか。



夕食後のファイヤーサイドセッションでは、ICY出身で現在NIMSで活躍している田村亮チームリーダー（マテリアル基盤研究センター材料設計分野データ駆動型アルゴリズムチーム）による“Black-Box Optimization Methods for Automated Materials Exploration”をご講演いただきました。続いて中田綾子主幹研究員（ナノアーキテクニクス材料研究センター 量子材料分野 第一原理量子物性グループ）に「Large-Scale DFT Calculations on Supported Metallic Nanoparticle Catalysts」と題したご講演をいただきました。



会食後の和やかな雰囲気の中での意見交換は参加者の心に残る良い機会となったことでしょう。



2日目は、基調講演から始まり、京都大学の関 修教授に“Electron/Spin Transport in Symmetry Breaking Conjugated Molecular Materials”と題したご講演いただきました。



続いてICYSの新メンバー、新ICYS Alumniの発表と続きました。



閉会の挨拶では、土谷 ICYS センター長と谷口理事より、基調講演をいただいた NASA の Othmane Benafan 博士と京都大学の関 修教授、続いて ICYS 卒業生、メンター、ICYS スタッフへの感謝の意が伝えられました。ワークショップを通して、ICYS リサーチフェロー

たちは、同僚、ゲストスピーカー、ICYS の卒業生たちと親睦を深めて会話を楽しみながら将来の展望を見出せたことでしょう。

2023 年 ICYS ワークショップは参加者に良い思い出を残して閉会しました。

